

カメラ アングル CAMERA ANGLE



農業の豊かさを見直す

「よこごしの味を楽しむ集い」開催

二月二十四日に中央公民館で、「阿賀の里づくり・よこごし」(渋谷実ヘッドマスター)主催による「よこごしの味を楽しむ集い」が、開催されました。この集いは、よこごし産の素材だけを使った料理を囲んで、農業のもたらす本当の意味での豊かさを直感しようとする目的から、昨年の委員のメンバーだけで催した「ふるさとの味を楽しむ集い」の範囲を拡大し、一般市民にも呼びかけたものでした。テーブルには、最盛期を迎えた促成栽培のチューリップが綺麗に飾り付けられ、横越産の素材をふんだんに盛り込んだ「よこごし鍋」「ごぼうサラダ」「手作りソーセージ」など十二品目が出揃い、そのおいしさに訪れた家族づれなど約八十人の参加者は舌鼓。

そのほかにも、数ある野菜等の中から、横越産でないものを当てるクイズや、参加者の舌を一番満足させた料理を投票により選ぶ「よこごしの味コンテスト」などの企画で、大変な盛り上がりを見せました。



心に潤いをもつ フラワーアレンジメント教室

三月七日に中央公民館で、中央公民館とお花のボランティアグループ「チューリップ畑」の共催により、横越産のチューリップを使ってフラワーアレンジメント教室が開催されました。講師の守田容子先生の指導のもと、約八十名の女性参加者がフラワーアレンジメントに挑戦。初めて習う人が多かったものの、受講者は出来上がった自分の作品にとっても満足そうでした。チューリップ畑の田中さとみ

さんからは「この会は、横越村に住んでいる皆さんに横越産の素晴らしいチューリップを見て欲しいと思い開催いたしました。多くの方に参加していただき感謝しています」と挨拶がありました。

なお、この模様はテレビ番組でも取り上げられました。興味を持たれた方は、公民館講座「フラワーアレンジメント教室」へ参加してみませんか。

155名の生徒

母校を巣立つ

第49回横越中学校卒業証書授与式が、三月十二日に行われました。

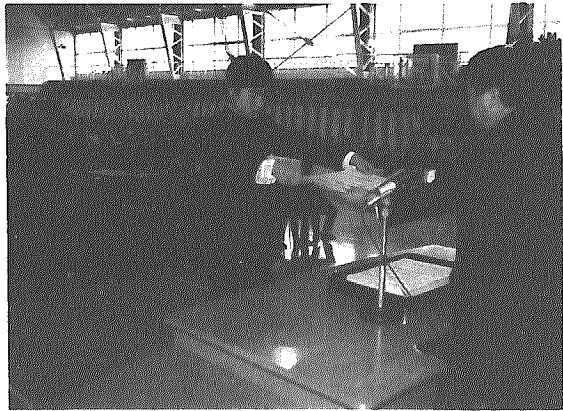
この度の卒業生は、一組から四組までの一五五名。数多くの在校生や先生、父母、来賓者が見守る中、これからの人生に対する期待とはなむけの言葉が述べられました。

吉田正俊校長からは、自分の未来は、他人が用意するのではなく自分で築くものとし、輝く未来に向けて「自分らしい生き

方を求めつづけること」「いつも勇気を持って生きること」の二つの約束がされました。

「別れのことば」では、在校生と卒業生の代表者の語りにより、季節を通じた思い出場面がスライド方式で放映され、当時は懐かしむように卒業生達は静かに見入っていました。

なお、横越中学校では今回を含めると八、三二五名の卒業生が母校を巣立ったことになりました。



遊びに国境はなし

横小で国際交流事業開催

このほど中央公民館主催の国際交流事業が、三月二日に三年生児童を対象に歌やゲームで楽しんだのを初めとして、三回に分け開催されました。

この事業は、国際化時代を迎えた現在において、小さい頃から外国に目を向けるきっかけになってくれればということから、小学一年生から四年生までの児童を対象として、中央公民館で開催された英会話講座の講師でもおなじみの、クロード・ジョンソンさん(カナダ出身)をお招きして、行いました。

第二回目にあたる三月六日は、小学校の体育館で、二年生の児童二六〇名を対象に、日本における伝統的な遊びのお手玉、竹馬、けん玉等九つの遊びのコーナーが設けられ、共に遊ぶことで交流を深めました。ジョンソンさん自身が色々な国を巡って感じたことは、言葉は違っても昔ながらのこのような遊びは、世界共通のものであることだそうです。

最終の三月八日には、四年生児童を対象に、カナダの生活についての話ががありました。

